

医学用語シソーラス【第 8 版】

改訂の要旨

医学用語シソーラス第 8 版作成にあたっては、第 7 版の基本方針を踏襲し、米国国立医学図書館 (National Library of Medicine) の統制用語集である Medical Subject Headings (以下 MeSH) 2014 年版に準拠して改訂を行いました。

第 8 版における主な改訂点は、第 7 版で準拠した MeSH2010 年版から後の変更の反映、シソーラス作成の際の参考資料である各種の用語集などで用いられている用語表記の変更の反映、また、利用者の方からのご意見などを検討し、用語の新設と削除、表記の変更、カテゴリーの変更を行いました。この結果、29,862 語を収録し、第 7 版の 28,205 語から 1,657 語の増加となりました。

なお、第 8 版からは冊子体のシソーラスは発行せず、医中誌 Web のシソーラス参照にて、これまで冊子体に収載してきたシソーラスの情報を掲載します。

以下に第 8 版における MeSH2014 対応の具体的な内容、医中誌で独自に収載しているシソーラス語の内訳やカテゴリー構築、および今回の改訂の具体的な内容を記載します。

1. MeSH 2014 年版への対応

- 1) MeSH 2011～2014 年版の新設語・変更語・削除語に対応しました。
- 2) MeSH 2014 年版の Tree Number を基に階層構造を構築しました。
- 3) MeSH 登録語のうちカテゴリー A～F については、原則としてすべて収載しています。
- 4) MeSH 登録語のうち以下は収載していません。
 - ・ 日本にはない制度の用語 (例: アメリカインディアン保健医療サービス)
 - ・ 歴史的事件の用語 (例: クリミア戦争)
 - ・ Publication Characteristics (V カテゴリーのすべて)
 - ・ 世界の国名や地域名以外の地名 (例: ウィスコンシン州)
 - ・ カテゴリー G～N のうち索引上必要性の低い用語 (例: 土星)
- 5) ディスクリプタの表記が MeSH の定義に沿ったものかどうか見直しを行い、必要に応じてより適切な用語に変更しました。
(例) 骨釘 → 骨ネイル (MeSH の Heading は“Bone Nails”)

2. 医中誌独自収載語

- 1) MeSH とは別に医中誌独自で収載している用語として以下のものがあります。
 - ・ 国内で使用される可能性の高い国際一般名 (INN) が登録された医薬品
 - ・ 生薬 (『日本薬局方』、『日本薬局方外生薬規格』より)、漢方薬 (『医療用医薬品集』より)
 - ・ 看護、介護に関する用語
 - ・ 日本の都道府県名、政令指定都市、政府機関、公的組織
 - ・ 医中誌フリーキーワードのうち索引頻度が高いなどによりシソーラス語としたもの
- 2) MeSH にて Entry Term で同義語として扱われている用語でも、必要に応じて別のディスクリプタやフリーキーワードとして収載しています。
(例) Personhood → 人間の尊厳 (MeSH の Entry は“Human Dignity”)
武道 → 柔道

3) 「経腸栄養剤」とその下位語の新設

「濃厚流動食」、「半消化態栄養剤」などは、これまでフリーキーワードとしてカテゴリーによる関連づけの無い状態で登録されていました。今回「経腸栄養剤」を新設し、その下位に「濃厚流動食」、「半消化態栄養剤」などを位置づけ、「経腸栄養剤」としてまとめて検索できるようにしました。

3. 医中誌独自カテゴリー

1) 薬効別カテゴリー

MeSH で各薬物に付加されている“Pharmacologic Action”(以下 PA)の情報を基に、薬効別カテゴリーを構築しています。これに加えて(一財)日

本医薬情報センターの発行する『医療用医薬品集』および『医薬品辞書』を参考に、不足している薬効別カテゴリーの補充も行いました。これにより、MeSH の PA 以外に、約 1,900 の医薬品に対して約 2,400 の薬効が追加されました。

(例) Tocilizumab に「抗リウマチ剤」のカテゴリーも追加

2) 生薬のカテゴリー

医中誌独自収載の生薬名を、「植物性生薬」、「動物性生薬」、「鉱物性生薬」に分類してその下位とし、また「植物性生薬」の場合には、該当する植物名の下位にも位置づけています。

(例) 葛根 → クズ属 (Pueraria) の下位語に

3) 第 7 版の医中誌独自語の下位語の修正

第 7 版にて下位語を適切に位置づけていなかったものがいくつかありましたので、これを修正しました。

4. 統制語の表記変更

1) 米国精神医学会作成の精神疾患の診断・統計マニュアル“DSM-5 (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition)”の日本語訳が発表されたのにも関わらず、精神科領域の疾患名を変更しました。

(例) 人格障害 → パーソナリティ障害
性同一性障害 → 性別違和

2) 日本医学会の医学用語辞典で推奨する用語表記との整合性を確認し、原則としてこれに準拠した表記に変更しました。

(例) 蛋白質 → タンパク質
上皮小体 → 副甲状腺

これらの改訂の結果、第 8 版におけるシソーラス語数、および変更種類別の語数は下記のとおりとなりました。

総ディスクリプタ	29,862 語
新設	1,719 語
ディスクリプタ表記変更	912 語
削除	62 語